



白馬童子

糸魚川市立糸魚川小学校

学校だより 第5号

令和5年9月25日

TEL:025-552-0042 FAX:025-552-1304 E-mail:itosyo@itoigawa.ed.jp

(HP)<https://www.itoigawa.ed.jp/itosyo/> (携帯)<http://itoigawa.ed.jp/itosyo/otayori/i/>

「やってみよう 思い切って」(挑戦)

校長 富永 浩文

夏休み中、ご家庭や地域で、子どもたちを見守り、育てていただきありがとうございました。学校は残暑の中、8月25日(金)から2学期をスタートしました。31日間の夏休みを終え、子どもたちは元気に登校してきました。重い荷物を持ち、朝から額に汗して登校する子どもたちから、明るい挨拶の音が聞こえてきてうれしくなりました。私は始業式で、実りの秋と言われる2学期に、子どもたちが大きく成長することを願って、以下のような話をしました。



自然体験教室 5年生の「挑戦」

2学期のスタートにあたって、皆さんにお願いしたいことがあります。それは、「やってみよう 思い切って」ということです。私たちは、いろいろな場面で自分が言うこと、することを、自分で決めています。例えば、正しいと思うことを人前で言うか、言わないでおくか。誰もやりたがらないことを進んでやるか、やめておくか。苦しい練習を始めるか、楽な方にするか。決めるのに迷います。不安や弱気になると、どうしても楽な方、失敗しない方、安全な方を選んでしまいます。

私は、決めるのを迷った時、「面倒な方、大変な方に取り組もう」、そのような気持ちをもってほしいのです。毎回取り組めるとは限りません(大人でも難しいです)。でも、2回に1回、3回に1回は、自分を奮い立たせて一歩踏み出してほしいのです。これを「挑戦(チャレンジ)」という言葉で表すこともできます。「挑」という字は、挑む(いどむ)という字です。似たような字で、逃げる(にげる)という字がありますが、逃げずに挑んでください。

2学期は、持久走大会やわかばコンサートがあります。6年生は親善陸上大会、5年生は音楽発表会、3年生はジオパーク学習交流会、金管部や合唱部は、翠明苑での発表などがあります。その他にも各学年で色々な活動があります。「緊張するなあ。辛そうだなあ。疲れるなあ。恥ずかしいなあ。」など、挑戦をじゃまする気持ちが出てきて、尻込みするかもしれません。でも、挑戦し終った時は、きっとやって良かったと思えることでしょう。それが、自信や成長につながるのです。

さらに、一人ひとりの挑戦は、周りの人たちの応援が大切です。周りの人が、挑戦した人を祝福したり、温かい言葉がけをしたりすることで、次の挑戦があちらこちらで生まれます。みんなで「やってみよう 思い切って」、そして、みんなで「挑戦」を支え、応援しましょう。

さて、9月6日(水)の2時間目、1年生の体育に呼ばれました。行ってみると、1年生が整列して待っていました。皆真剣なまなざしです。そして、次のように全員で私に訴えました。

1年生からお話します。聞いてください。うさぎをかわせてください。お世話にちょうせんしてみたいです。いのちを守ってみたいです。うさぎをかうと、勉強できるからです。

講堂が震えるくらいの声、本気の気持ちが伝わってきました。私は、命の大切さ、命を預かることの責任の重さについて話し、最後に飼うことを許しました。学校中で挑戦が始まっていました。